



# 人権週間2022

令和4年12月4日(日)～10日(土)

☎ 福祉介護課 ☎84-0316

## 『誰か』のこと、じゃない。

インターネットの普及は、それまでマスメディアから一方的に情報を得るだけだった人々の「知る権利」の拡大に大きく貢献しました。また、自ら不特定多数の人に情報を発信することができるようになり、人々が不正に対して声を上げ、人権を守る道具としても活用されています。

一方で、他人への誹謗中傷、プライバシーの侵害、SNSはじめ、性的マイノリティや特定の民族・国籍の人々への差別を助長するような言動(いわゆるヘイトスピーチ)など、人権に関わる様々な問題が発生しています。

近年では、自殺を誘うような情報など、ネット上で犯罪やトラブルに巻き込まれ、未成年が被害に遭うなどの深刻な人権侵害も起きています。

内閣府により行われた「人権擁護に関する世論調査」でも、過半数が、ネット上で他人を誹謗中傷する情報や、プライバシーに関する情報が掲載されることが問題となっていると回答しています。

ネット社会での人権問題

完全な匿名ではない

人権侵害の加害者・被害者にならないためには、インターネットが完全な匿名ではないということに常に意識することが重要です。SNSなどの投稿が法律に違反していると判断された場合、被害者が希望すれば投稿の発信者を特定する事が可能です。不正確・不用意な発言が誰かを傷つけるかもしれないということ、ネットの向こう側には自分と同じ人間がいるということを忘れないようにしましょう。

詳しくは法務省HPで!



## event



### ともに生きる社会 かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

### 展示

ともに生きる社会  
かながわ憲章 パネル展

12月5日(日)～12月9日(金)

開成町役場庁舎1階  
町民プラザ

19人の尊い命が奪われた「津久井やまゆり園」における事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと考えられています。事件を風化させず、このようなことが二度と繰り返されないよう、県では共生社会の実現をめざし、「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めています。



- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます



## 開成町初の女性消防団員誕生!

ふかわまなみ  
府川茉波さんってどんなひと?

今年9月に町の消防団第3分団に入団された町で初めての女性消防団員。フレッシュ18歳の府川さんに、興味シンシンでお話を聞いてみました。

☎ 企画政策課 ☎84-0312



**Q1** 消防団に入団したきっかけは? **A**

4月から救急救命などの専門学校に入学し、勉強を進めるなかで、消防団の活動内容を詳しく知り、「私も地域のために活動したい」と思い入団しました。

**Q4** 消防団について聞かせて! **A**

入団してまだ日が浅く、学校もあり、あまり活動に参加ができていないのですが、団員の皆さんはご近所さんも多く、優しい方ばかりで、親しくしていただいています。

**Q2** 専門学校ではどのような勉強をしているの? **A**

将来、救急救命士になることが夢で、海老名にある医療系の専門学校に通っています。勉強は覚えることが多く、日々、救命救急に関する実技試験もあり、かなり大変です。



**Q3** 将来、救急救命士になりたいと思ったのはなぜ? **A**

家族が医療関係で働いているので、小さな頃から身近に「医療」があったこと。その後、医療系ドラマの「コードブルー」を観たことで、「救急救命士になりたい!」と強く決意しました。

**Q5** これからの活動に一言! **A**

救命講習や、その他の活動を通じて町民の皆さんに親しまれる身近な存在になりたいです。しっかり勉強して、憧れの救急救命士になります!!

### 取材後記

とってもキュートな府川さんとテレビドラマの話で盛り上がり、とっても楽しい時間でした。勉強も遊びも色々なことに全力で頑張って、夢を叶えてほしいですね!

まちづくり情報特派員 堀岡 一美

